

令和6年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



テーマ

地域・家庭との協働によって
一人一人のよさを伸ばす学校
～ 笑顔であいさつ
心をこめて ありがとう ～

学校名 佐世保市立小佐世保小学校
所在地 佐世保市小佐世保町 18-1
校長 春田 優洋
児童数 192名 学級数 11

1 目的

- (1) 学力向上を図る
- (2) 豊かな心を育む



2 実践内容

(1) 学力向上を図る

○学力の把握・分析（全学年）

標準学力テストを1月に実施して、児童の学力の状況と実態を把握した。学年ごとに課題を洗い出し、家庭学習や学年末の学習内容の習熟させるために重点的に取り組んでいる。

○国語の学力向上を目指して

国語の読解を苦手とする児童や、特別支援の児童に対して配慮のあるワークシートを使い、国語が好きになるように、積極的に学習に取り組むように支援した。教科書と同じ単元構成になったワークシートを使い、より学習理解を深めるよう活用している。



(2) 豊かな心を育む

○平和学習（5年生 5月）

5年生が佐世保空襲資料館に見学に行った。戦時中のくらしの様子について学んだ。また、佐世保空襲を語る会の方から、戦時中の話を聞いたり、第二次世界大戦になったいきさつを聞いたりした。平和の大切さを実感し全校児童の前で発信することができた。



○花いっぱい運動

栽培飼育委員会を中心として、卒業式、入学式に会場を彩る花づくりを行った。苗が大きくなったり、花が咲いたりすると共に喜び合う姿が見られた。



3 成果と今後へ向けて

(1)「学力向上」に関しては、1月に実施した学力検査の結果、1年生と5年生が、全国平均を上回る素晴らしい結果となった。2年生、3年生、4年生、6年生においても全国平均に迫る結果であった。本校職員の授業改善に励む姿勢や、日ごろの児童の学習に対する主体性と努力の成果である。今回の学力検査の結果を踏まえ、まずは年度末に習熟の必要な課題について重点的に復習を行った。また、来年度も学年ごとに抱えている課題を中心に、習熟を行い課題の克服を継続していきたい。加えて、学校全体で「わかる授業」づくりや家庭学習の充実を図っていこうと考えている。さらに、「協働して主体的に学ぶ態度」を重視した授業改善を来年度も続けていく計画を立てているところである。

今年度「勉強が好き」と答えた児童は全校で65.9%。「授業が分かる」と答えた児童は、87.8%であった。子ども一人一人に応じた個別の学びや友達との対話を通して考えを深める協働的な学びを推進してきた成果であると考えている。また、今年度は国語科の授業で、話し合い活動を充実させ、友達の考えを共有することとおして自分の考えを深め広げることを実現することができた。さらに、今後も協働的な学びを一層推し進め、学力向上をめざしていきたい。

(2)「豊かな心を育む」教育活動については、5年生が佐世保空襲に関して全校児童の前で発表を行った。実際に資料館で見聞きしたことを、個人でまとめて全校児童が分かるようによく工夫されていた。「自分を大切にすること、身近な友達を大切にすること」が平和への第一歩であることを発信し、全校児童に平和の尊さを訴えた姿は見事であった。また、卒業式・入学式に備えて苗を育てる活動をとおして、生命を尊重する心を培うことができた。命を大切にすることは、友達に対しても優しい言葉遣いや気配りをするにつながることを理解することができた。